

## 医療サービスの更なる質の向上を目指して！

毎日数多くの患者様の診療に追われるお医者様。それをサポートする看護師様や医療関係者様。その診療活動の第一歩といってもよい「問診」を改革する「問診ナビ」は、診療時における従来の問診時間を大幅に削減し、その時間を患者様とのコミュニケーションに使える画期的なシステムです。

### こんなことにお困りではありませんか？

毎日の来院する患者さんの数が多過ぎて、じっくり患者さんの話をきく時間がとれない。特に子供さんの場合は…

自分がいなくても、病院スタッフが、ある程度患者さんの状態を把握し、適切な対処をできないものか？

手書きの問診票は電子化できていないので、電子カルテに残す場合は、すべて打ち直さなければならず、手間がかかる…

一般的な問診票の内容では全く不十分。診察時にほとんど全て症状を聞き直さなければ、もっと効率のよい問診票が作れないか？



最近外国人旅行者の来院が増えたが、日本語を話せない患者も多い。症状を日本語で正確に把握できないものか？

### 「問診ナビ」の特長

- 1** **世界初の双方向性臨床推論アルゴリズム搭載。** 問診回答に応じて疑わしい病気を推論し、次なる問診項目を自動選択するので、医師は診療場面では問診結果を一目で把握することができ、問診以外の診療活動に診療時間を割くことができます。
- 2** 患者様の**年齢に応じて**、新生児、乳児、幼児、小児、成人、高齢者の各年齢層で症候ごとに個別推論アルゴリズムを展開し、最適な問診項目を選定します。
- 3** 緊急度の高い問診結果に該当する項目があった場合は、**トリアージ機能**により**赤色**もしくは**黄色**の警告表示が行われ、適切な処置を促します。
- 4** **ガイダンス機能**により、問診の意図、背景、問診結果の説明等の詳細説明が表示でき、症候診断プロセスが学べます。



※「問診ナビ」は筑波大学附属病院の前野哲博教授監修

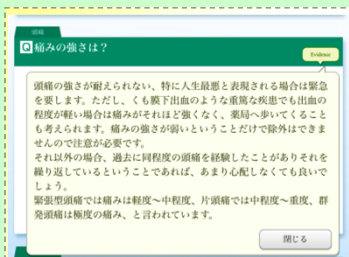
システムの主な機能

■トリアージ機能

問診	症状
① いつからですか?	今日の朝(6時~12時頃)
② 痛みの強さは?	かなりつらい
③ どんな痛みですか?	頭が重い、鈍い
④ 痛みのある場所は?	全体的
⑤ 症状は突然始まりましたか? (発症から1分以内にピークに達する)	はい
⑥ 頭痛は絶え間なく続いていますか?	よくわからない

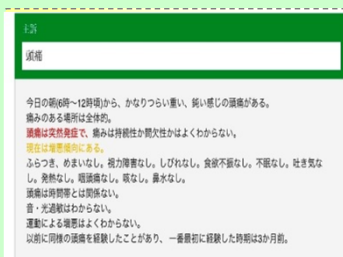
問診項目内に**緊急性の高さ**を判断するものがあります。該当の場合は**赤もしくは黄色**で表示し、警告します。

■ガイダンス機能



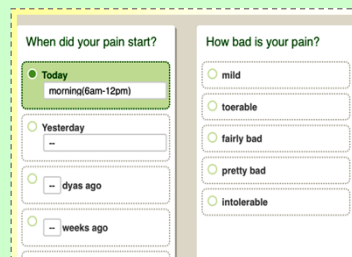
推論アルゴリズムにより選定した**問診項目の背景や意図**を説明する機能により問診学習に活用できます。

■文章化機能



問診結果はサマリして**文章に変換**する機能。そのまま**電子カルテ等に連携**して記録することができます。

■外国語対応機能



来日している外国人が母国語で問診回答すると、結果が医師に日本語で表示される機能。**英語版、中国語版**。

主な活用シーン

◆新患の事前問診に!



新患に問診ナビを使えば、**最適な問診情報**が取得でき、電子カルテに転送することにより**電子化と省力化・時間短縮**が図れます。

◆急患のトリアージ確認に!



救急で受信した患者に対し、必要最低限の質問を行って、**緊急度を判断**し、治療対応の**優先判断**ができます。

◆在宅ケアの症候確認に!



訪問診療の際、医療従事者が医師に替わって**的確な問診**を行うことができ、医師への**的確な報告**が可能です。

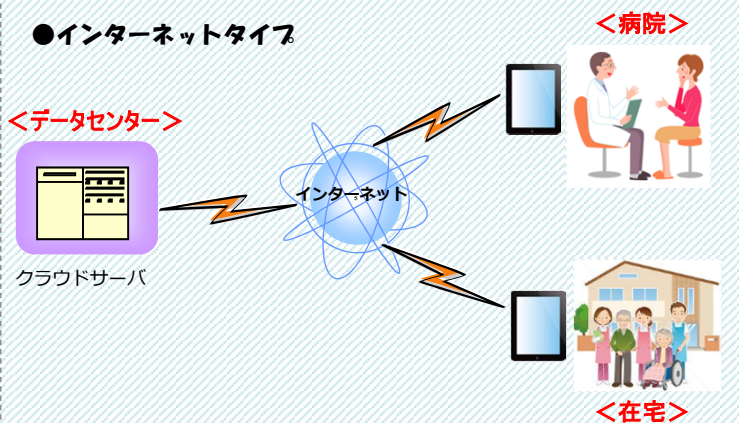
◆医療従事者の問診学習に!



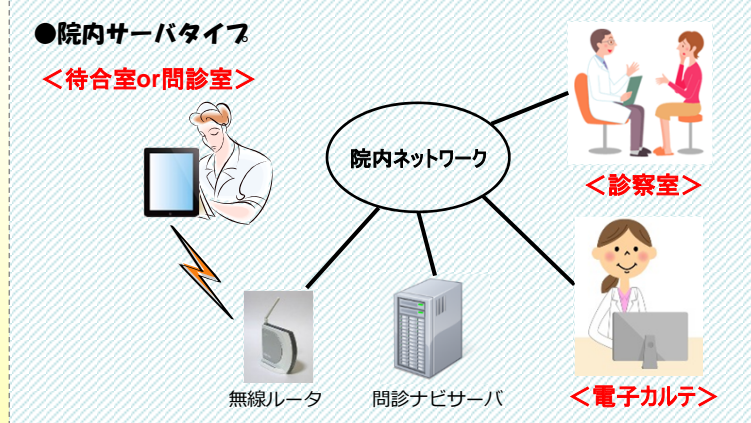
問診時、ガイダンス機能によって**質問の背景や意図**を学習できるので、医療従事者の教育にも活用できます。

2つのサービス導入パターン

●インターネットタイプ



●院内サーバタイプ



開発元

メトロネット株式会社

〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場 3-1-5  
サンパティオ高田馬場 2 1 0  
TEL 03-5937-4842 FAX 03-6823-8112  
URL <http://www.metronet.jp>  
E-mail [monshin@metronet.jp](mailto:monshin@metronet.jp)

お問い合わせ先はこちら